

申告書の提出日を記入してください。

自動車税廃車申告書兼標識返納書
原動機付自転車・小型特殊自動車

令和●●年●●月●●日

市町村長 殿

つぎのとおり申告及び標識の返納をします。

「その他」に☑を入れてください。
()内に「相続」と記入してください。

車両の種別を選択し、☑を入れてください。
※小型特殊自動車の場合は、☑欄下の()内に具体的な車種
(トラクター、フォークリフトなど)を記入してください。

記入例

その他
(相続)

車両の標識番号
(ナンバープレートの番号)
を記入してください。

車両の主たる定置場について、
該当する項目の数字を丸で囲んでください。
「1」ではない場合は、「2」を丸で囲み、
右に定置場を具体的に記入してください。

車両の情報について記入してください。
車名・車台番号・総排気量又は定格出力
は、記入必須事項です。

※「第一種 一般原付(総排気量0.125L以下
かつ最高出力4.0kW以下)」の場合は、
「最高出力」もあわせて記入してください。

※「第一種 特定原付」「小型特殊自動車」
の場合は、「長さ」「幅」「最高速度」を
記入してください。

標識返納の有無について、
該当する項目の数字を丸で囲んでください。
標識(ナンバープレート)を返納する→「1」
標識(ナンバープレート)を返納しない→「2」

「2」を丸で囲んだ場合、
その理由を右欄に記入してください。

また、理由が「イ. 盗難」の場合、
盗難届出の状況を下欄に記入してください。

【注意】
紛失・破損により標識が返納できない場合、
標識弁償金として、200円を徴収します。

第三十四号様式
(第十六条関係)

申告の理由	種 別		標 識 番 号	出雲市 あ ○○○○
廃 車 <input type="checkbox"/> 廃棄 <input type="checkbox"/> 譲渡 <input type="checkbox"/> 転出 <input type="checkbox"/> 盗難・紛失 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (相続)	原動機付自転車	小型特殊自動車		
	<input type="checkbox"/> 第一種 一般原付 (総排気量0.05L又は定格出力0.6kW以下) <input type="checkbox"/> 第一種 一般原付 (総排気量0.125L以下かつ最高出力4.0kW以下) <input type="checkbox"/> 第一種 特定原付(定格出力0.6kW以下) <input type="checkbox"/> 第二種 乙 (総排気量0.09L又は定格出力0.8kW以下) <input type="checkbox"/> 第二種 甲 (総排気量0.125L又は定格出力1.0kW以下) <input type="checkbox"/> ミニカー	<input type="checkbox"/> 農耕作業用 <input type="checkbox"/> その他 ()	廃車年月日	記入不要

納 税 者	住 所 又は 所在地	〒●●●●-●●●●	島根県出雲市△△町△△△△番地
	(フリガナ) 氏 名 又は 名 称	ケイジ 軽自 死亡者 次郎	ジロウ
義 務 者	住 所 又は 所在地	〒□□□□-□□□□	同上
	(フリガナ) 氏 名 又は 名 称	同上	同上
届 出 者	住 所 又は 所在地	〒●●●●-●●●●	島根県出雲市○○町○○○○番地 □□アパート101号室
	(フリガナ) 氏 名 又は 名 称	イヌモ 出雲 相続人代表者 太郎	タロウ

主たる定置場	① 左記所有者の住所又は所在地と同じ		
車 名	型式及び年式	原動機の型式番号	
□□□ (メーカー名)	ABC-DE99 20XX年式	AB12E	
車 台 番 号	型式認定番号	総排気量又は定格出力	
AB12-3456789	II-1234	●●cc L kW	
長 さ	幅	最高速度	最高出力
cm	cm	km/h	kW
標識返納の有無	標識返納がない場合、その理由		
1. 有	イ. 盗難 ロ. 紛失 ハ. 破損 ③ その他 (継続使用)		
②. 無	具体的に: 次の所有者が継続して使用するため。		
盗難届出	届出年月日	令和 年 月 日	被害年月日 令和 年 月 日
	届出警察署	警察署	交番・駐在所
	受理番号		

車両の所有者・使用者・届出者をそれぞれ記入してください。
個人・法人ともに、押印は不要です。

【お問い合わせ先】
〒693-8530 島根県出雲市今市町70番地
出雲市 財政部 市民税課 法人諸税係 軽自動車税担当
電話:0853-21-6703 FAX:0853-21-6832
開庁時間:8:30~17:15 ※土日祝日、年末年始を除く。

第34号様式記載要領

- 1 この申告書は、原動機付自転車又は小型特殊自動車1台ごとに作成すること。
- 2 「申告の理由」及び「種別」の各欄には、該当箇所の□（チェック欄）にレを記入すること。なお、「種別」の欄については、該当箇所の□（チェック欄）のいずれか1つのみにレを記入すること。
- 3 「廃車年月日」の欄には、納税義務が消滅した年月日を記入すること。
- 4 「納税（申告）義務者」の欄の「住所又は所在地」には、都道府県、市町村名、番地まで記入すること。また、納税義務者等がビル等に入居している場合又は同居人である場合には、ビル等の名称のほか棟号数、室番号又は〇〇様方のように、郵便物が確実に届くように記入すること。
- 5 「納税（申告）義務者」の欄には、所有者と使用者が同じである場合は、所有者欄のみを記入すること。
- 6 「届出者」の欄には、申告に来た者が納税義務者以外の者である場合に記入すること。
- 7 「主たる定置場」の欄には、申告の際の主たる定置場が所有者の住所又は所在地と同じである場合については1を○で囲み、それ以外の場合については2の欄にその住所又は所在地を具体的に記入すること。
- 8 「長さ」、「幅」及び「最高速度」の欄は、特定原付の申告時のみ記入すること。
- 9 「最高出力」の欄は、総排気量0.125L以下かつ最高出力4.0kW以下の一般原付の申告時のみ記入すること。
- 10 「標識返納の有無」の欄には、標識の返納が有る場合には1を、また、標識の返納のない場合には2を○で囲むこと。なお、標識の返納のない場合については、その理由に該当する項目を○で囲み、具体的な理由を〔 〕内に記入すること。
- 11 「盗難届出」の欄には、「申告の理由」又は「標識返納がない場合、その理由」欄において「盗難」に該当する場合に、その盗難を届出た年月日、被害年月日、届出警察署及び受理番号を記入すること。